

2026 年 7 月 13 日

報道関係者各位

三井不動産株式会社
三井不動産リゾートマネジメント株式会社

三井不動産グループの最高級ラグジュアリーホテル 『HOTEL THE MITSUI HAKONE』 2026年12月15日開業 7月15日より宿泊予約開始

本リリースのポイント

1. 約 14ha に広がる、箱根の雄大な自然に囲まれた三井家ゆかりの歴史が息づく小涌谷の地に『HOTEL THE MITSUI HAKONE』が 2026 年 12 月 15 日に開業。宿泊予約の受付は 7 月 15 日より開始予定。
2. 全 126 室の客室に天然温泉とバルコニー/テラスを備え、箱根の四季と調和する上質な滞在体験を提供。
3. 眼前に浅間山を望むサーマルスプリング※1にて、自然と一体となるウェルネス体験を提供。
4. 日本料理「三溪(サンケイ)」をはじめとする多彩なダイニングで、土地の恵みを活かした食体験を展開。

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 植田 俊、以下「三井不動産」)および三井不動産リゾートマネジメント株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 洲戸 渉)は、「HOTEL THE MITSUI HAKONE」(所在地:神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷字箕作沢 450 番 1 他、総支配人 楠井 学、以下「当ホテル」)を 2026 年 12 月 15 日(火)に開業いたします。宿泊予約受付は、2026 年 7 月 15 日(水)より開始する予定です。当ホテルの運営は、「ハレクラニ沖縄」や「HOTEL THE MITSUI KYOTO」などを運営する三井不動産リゾートマネジメント株式会社が行います。

当ホテルは、かつて三井家の別荘が群をなして存在した小涌谷の地に位置し、その歴史的背景を受け継ぐとともに、「HOTEL THE MITSUI KYOTO」に続く、HOTEL THE MITSUI ブランド 2 つ目のホテルとなります。「HOTEL THE MITSUI KYOTO」は、フォーブス・トラベルガイド 5 つ星、ミシュランガイド 3 ミシュランキー、World's Best 50 Hotels の選出など、グローバル基準で高い評価を獲得しており、当ホテルもそれに続く、三井不動産グループの最高級ラグジュアリーホテルとして開業します。

当ホテルでは、目の前に浅間山を望む広大な敷地と箱根の雄大な自然に囲まれた環境の中、温泉や食、自然とのふれあいを通じて、思い思いにお過ごしいただける静かで寛ぎに満ちた滞在体験を提供してまいります。

また、マリオット・インターナショナルのラグジュアリーブランドである「ラグジュアリーコレクション」と提携し、世界中に会員顧客を有する同社と連携することで、国内外から多くのお客様にご利用いただけるホテルを目指してまいります。



浅間山を背景とするエントランス

※1 サーマルスプリング:水着を着用して入る天然温泉を利用した温浴施設

■「HOTEL THE MITSUI HAKONE」の概要

HOTEL THE MITSUI は、2020 年 11 月 3 日に「HOTEL THE MITSUI KYOTO」を開業して以来、ブランドコンセプトである「日本の美しさと-EMBRACING JAPAN'S BEAUTY-」のもと、伝統文化や建築、工芸、食などに見られる日本独自の美しさを大切にしながら、細やかな心遣いと洗練された振る舞いによって、すべてのお客様に特別な体験とくつろぎを提供してまいりました。当ホテルにおいても、このコンセプトを継承し、箱根の恵まれた自然環境を最大限に活かしながら世界水準のハードとサービスを提供いたします。

当ホテルは、「富士箱根伊豆国立公園」内に位置しています。約 14ha の広大な敷地は約 45m の高低差があり、蛇骨川以南の浅間山側は原生林をそのまま残し、豊かな自然と地形を存分に活かした、この土地が育んできた自然環境を未来へ継承する計画としています。緑に包まれたアプローチを上がるにつれて周囲の喧騒から離れ、大屋根を設えたエントランスがお客様を迎えます。大屋根をくぐると、浅間山の雄大な景色が広がり、自然と一体となる特別な滞在体験の始まりを演出します。

インテリアデザインは世界的デザイン事務所「Yabu Pushelberg」が担当。自然との調和を意識した空間設計により、上質で開放感のある滞在環境を創出しています。

全 126 室の客室には天然温泉を備え、レストランやサマーカサ、スパ、離れ「四季庵」など、多彩な施設を展開。箱根の自然・食・温泉・文化を通じて、心身を満たすリゾート体験をお届けします。

2026 年 7 月 15 日より宿泊予約を開始する予定です。詳細につきましては、公式ホームページにてご案内いたします。

公式ホームページ: <https://www.hotelthemitsui.com/ja/hakone/>



ロビー



鳥瞰パース

■客室概要

客室には敷地内から湧く天然温泉を引き入れた専用風呂を全室完備し、48 m²のデラックスルームから 100 m²超のヴィラ、200 m²超のプレジデンシャルスイートや最上位客室のシグネチャーヴィラまで、多様な部屋タイプをご用意しています。グランドルームは約 6mの間口を備え、開放的な空間の中で外の景色をより身近に感じていただけます。ヴィラタイプは室内風呂と露天風呂を備え、豊かな自然の景色を独り占めしながら、静かで贅沢な時間をお過ごしいただけます。多くの客室では外の景色を望むビューバスを備え、眼前に広がる雄大な浅間山や箱根の自然を眺めながら入浴をお楽しみいただけます。自然と一体となる、静かで上質なひとときをお過ごしください。



デラックスルーム



グランドルーム



ヴィラ



デラックスルーム ビューバス

■サーマルスプリング SPA 概要

京都の市街地の地下にある「HOTEL THE MITSUI KYOTO」のサーマルスプリングとは趣が異なり、屋内外で天然温泉をお楽しみいただける開放的なサーマルスプリングは、浅間山の雄大な景色を眼前に、蛇骨川のせせらぎを聞きながら、空、森、水が一体となる空間です。屋内・屋外それぞれ異なる魅力を備えた、特別な癒しのウェルネス体験を提供します。

またカップルルーム 1 室を含む 5 室のトリートメントルームを備えたスパでは、当ホテルオリジナルのメニューを体験いただけます。

「清閑に委ねる」をコンセプトに、森の清閑に包まれながら、森と呼吸し、自然に浸る、心身ともに安らげるひとときをご提供いたします。



サーマルスプリング 屋内外



サーマルスプリング 屋外

■レストラン概要

総料理長には、ザ・リッツ・カールトン東京の副総料理長やハレクラニ沖縄の総料理長などを歴任した高橋浩史を迎え、スペシャリティレストランの日本料理「三溪(サンケイ)」、オールデイダイニング「RIVERINE(リヴァライン)」とバー「The Bar LAMBENT(ランベント)」では、箱根をはじめとする地産の食材を活かした料理をご提供いたします。開放的なテラス席と外に向けて配置された室内席で、周辺の豊かな自然を感じながらお食事をお楽しみください。

日本料理「三溪」

窓の外に広がる原生林と、箱根の竹林を想起する柔らかな竹細工で演出された空間にて、会席・鮨・鉄板焼の3つのスタイルでお食事をお楽しみいただけます。

料理長には、3年連続ミシュラン1つ星を獲得した経験をもつ黒須浩之を迎え、箱根の土地の自然をモチーフにした「身土不二(しんどふじ)※2」の思想で地元や日本国内の選りすぐりの旬の食材を使用し、職人の技による四季折々の自然の恵みをご堪能いただけます。

※2 身土不二(しんどふじ)とは、仏教に由来する「身体(身)とそれを取り巻く環境(土)は切り離せず、本来ひとつである」という教えから生まれた言葉で、地元の食材・旬の食材を食べることが自然や環境と調和する、という意味で使用しています。



三溪 会席カウンター

オールデイダイニング「RIVERINE」

落ち着いたあるレジデンシャルな空間の室内席と開放的なテラス席から浅間山を眺めながら、自然に包まれたくつろぎのひとときをお楽しみいただけます。「RIVERINE」とは、川の流れに寄り添う風景を表す言葉で、穏やかな川の流れのようにゆったりとした時間と豊かな味わいを楽しめる場所という想いを込めています。地産地消・食のサステナビリティをコンセプトに、ライブ感のあるショーキッチンで相模湾の海の幸や旬の食材を使用し、朝食はビュッフェスタイル、ディナーは素材の旨味を引き出したグリル料理などをご堪能いただけます。



RIVERINE 室内席

バー「The Bar LAMBENT」

夜にはやわらかな灯りがほのかに浮かび、春には桜を、秋には紅葉といった四季の移ろいをお楽しみいただける「The Bar LAMBENT」。

東海道をモチーフとした京都・箱根・日本橋をつなぐアートが壁一面に広がる空間と柔らかな温かみのある照明のなかで、国産のプレミアムウイスキーのセレクションやシグネチャーカクテルをご提供いたします。



バーカウンター

■その他施設

離れ「四季庵」

敷地の奥へ進むと、森に抱かれるように離れ「四季庵」がひっそりと佇みます。桂離宮の保存工事、京都迎賓館の建設工事等にも携わった京都の安井奎工務店※3が建設工事全般を務め、敷地内の樹木等も一部用いて造られた伝統的な数寄屋造の空間です。季節の移り変わりを楽しみながら、お茶会としての利用など、日本らしいひとときを体験いただけます。

※3 安井奎工務店は、桂離宮や京都迎賓館等に携わるほか、「HOTEL THE MITSUI KYOTO」においても「四季の間」の再現を手掛けています。



離れ「四季庵」 外観

ファンクションルーム

お庭とテラスを設え、四季折々の自然を感じながらお過ごしいただける開放的なファンクションルームをご用意しております。

外の景色を楽しめる穏やかな空間の中、グループのお客様のご宴席はもちろん、企業のオフサイトミーティングまで、幅広い用途でお使いいただけます。



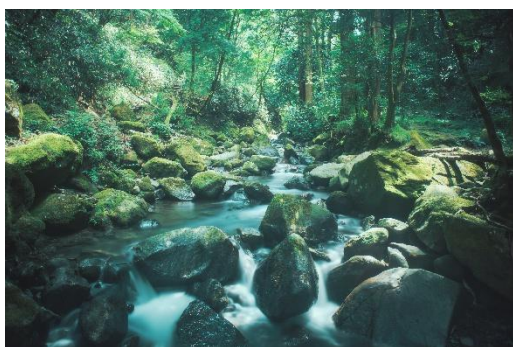
ファンクションルーム 内観

敷地内の散策路や周辺の自然豊かな景観地

ホテルの敷地内の散策路には、蛇骨川の川辺に設けたテラスデッキや、木々に囲まれたヨガテラスなど、広大な敷地を隅々まで体験いただけるネイチャーリトリートをご用意します。

また、ホテル周辺で、幅 20m・高さ 3m の火山岩の岩肌を幾千筋の水が細く流れ落ちる造形美が特徴の「千条(ちすじ)の滝」や、トレッキングコースとして人気の「浅間山」など、箱根町の豊かな自然をお楽しみいただけます。

木漏れ日や水のせせらぎ、森や土の香りなど、箱根という場所の豊かな自然環境を活かしたリラクゼーションエクスペリエンスをご提供いたします。



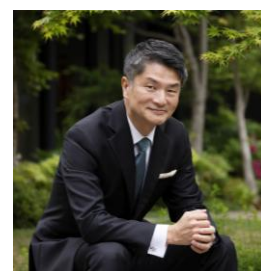
蛇骨川



千条の滝

<総支配人 楠井 学(くすい まなぶ)のコメント>

HOTEL THE MITSUI ブランドが箱根という新たな舞台を得られますことを、心より嬉しく存じます。京都で培ってきた数々の実績と世界からいただいた評価を礎に、「日本の美しさ」というブランドコンセプトを箱根でさらに昇華させ、お客様、パートナー企業の皆様、ホテル従業員、そして地域の皆様に末永く愛されるホテルを目指してまいります。箱根の豊かな自然と歴史への敬意を大切に、この地ならではの新たな価値を創造し、「HOTEL THE MITSUI HAKONE」ならではの感動をお届けいたします。12 月 15 日、皆様をお迎えできますことを、従業員一同、心より楽しみにお待ち申し上げます。



<総料理長 高橋 浩史(たかはし ひろし)のコメント>

料理とは、一皿にとどまらず、空間や時間、もてなしのすべてを内包する体験だと考えています。その信念のもと、食材はもとより、器やカトラリーに至るまで、生産者や作家のもとへ自ら足を運び、そこに息づく想いや物語に触れながら、選び抜くことを大切にしています。箱根という、長い歴史と文化が息づく地において、これまで誰も知らなかった新しい食体験の創造に挑み、ここでしか味わえない美食を、日本にとどまらず世界へと発信していきたいと考えています。



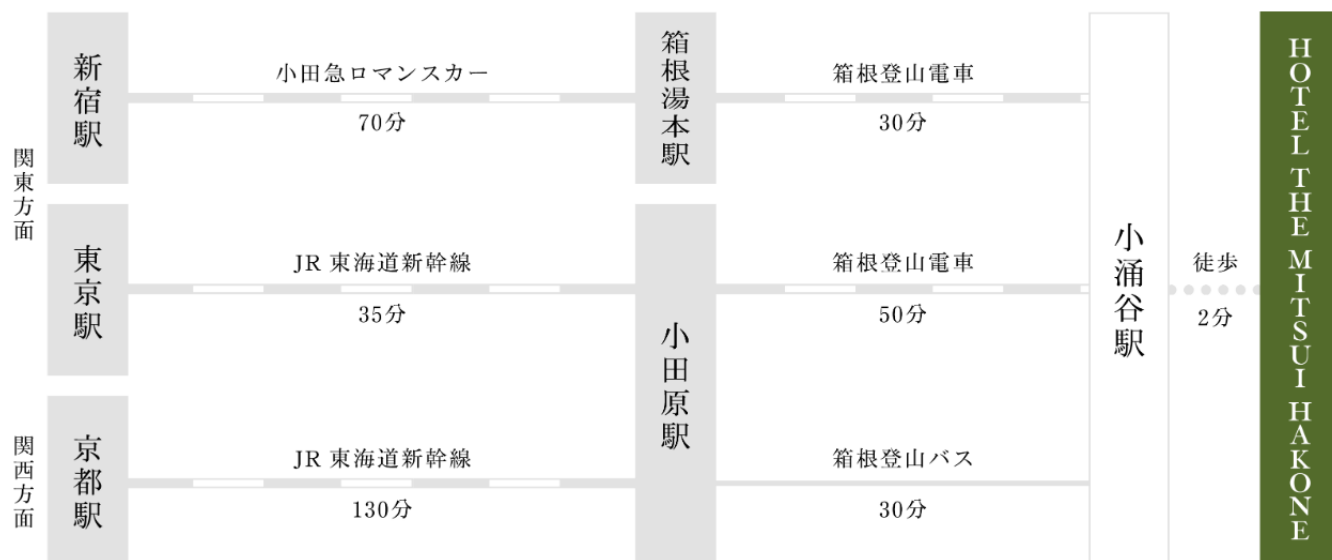
<HOTEL THE MITSUI HAKONE 概要>

ホテル名称	HOTEL THE MITSUI HAKONE (ホテル ザ ミツイ ハコネ)
開業日(予定)	2026 年 12 月 15 日
所在地	神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷字箕作沢 450 番1他(地番)
敷地面積	約 135,500 ㎡(約 40,980 坪)
設計・施工	株式会社竹中工務店
プロジェクトマネジメント	株式会社日建設計
客室数	126 室
料飲施設	「三溪(サンケイ)」日本料理 64 席 うち 会席 32 席、鮨 10 席、鉄板焼 14 席、個室 8 席 「RIVERINE(リヴァライン)」オールデイダイニング 96 席(うち個室 8 席)、テラス席 「The Bar LAMBENT(ランベント)」バー 34 席、テラス席
スパ	サーマルスプリング(水着を着用して入る天然温泉を利用した温浴施設) SPA トリートメントルーム 5 室(定員 1 名 4 室、定員 2 名 1 室)
その他施設	離れ「四季庵」 ファンクションルーム(約 73 ㎡) 正餐 36 席、立食 50 席 フィットネスジム、散策路、蛇骨川テラスデッキ、ヨガテラス
総支配人	楠井 学
運営会社	三井不動産リゾートマネジメント株式会社
公式サイト	https://www.hotelthemitsui.com/ja/hakone/
公式 SNS	Instagram 公式アカウント @hotel_the_mitsui_hakone

【客室タイプ一覧】

客室タイプ	客室	バルコニー/テラス	客室数
デラックスルーム	48 ㎡	10 ㎡	43 室
プレミアルーム	48-57 ㎡	10-11 ㎡	30 室
グランドルーム	51 ㎡	12 ㎡	14 室
Onsen ガーデンルーム	45-50 ㎡	13-14 ㎡	22 室
デラックススイート	105 ㎡	32 ㎡	7 室
Onsen ガーデンスイート	100 ㎡	34 ㎡	4 室
プレジデンシャルスイート	240 ㎡	81 ㎡	1 室
ヴィラ	101-112 ㎡	55-60 ㎡	3 室
テラスヴィラ	101 ㎡	75 ㎡(別途専用庭 52 ㎡)	1 室
シグネチャーヴィラ	217 ㎡	120 ㎡	1 室

【アクセス】



■三井不動産グループのホテル・リゾート事業について

三井不動産グループのホテル・リゾート事業では、「Hospitality and Beyond ～ときめきも、超えていく」のコンセプトのもと、単なる旅の目的地を超え、ゲストの人生を豊かに彩るシーンを創出することを目指し、ゲストを迎えるスタッフも、ともに喜びや幸せを感じられるホテル・リゾートの創造に取り組んでいます。

宿泊主体型ホテル事業では、「三井ガーデンホテルズ」、「ザ セレスティンホテルズ」、「sequence」を全国で展開。「三井ガーデンホテルズ」では“ガーデンのような豊かさや潤いのある滞在体験を提供したい”という想いから、ブランドタグラインを「Stay in the Garden」と定め国内外で 34 施設、“滞在そのものが目的となるデスティネーション型ホテル”の「ザ セレスティンホテルズ」を 3 施設、自分のスタイルで、“自由な時間と、過ごし方”を愉しむ次世代型ライフスタイルホテル「sequence」を 3 施設展開。

リゾート・ラグジュアリー事業では、自然や地域の特色を活かし、国際的に評価の高いホテルの誘致・開発を国内外で推進しており、「ハレクラニ沖縄」、「HOTEL THE MITSUI KYOTO」は、2022 年より 5 年連続で「フォーブス・トラベルガイド 5 つ星」を獲得しています。また、「HOTEL THE MITSUI KYOTO」、「アマネム」、「ブルガリ ホテル 東京」、「フォーシーズンズホテル東京大手町」は 3 ミシュランキーも獲得しています。

宿泊主体型ホテル



リゾート・ラグジュアリーホテル



■「HOTEL THE MITSUI HAKONE」の地球環境への取り組み

当ホテルでは、箱根の豊かな自然環境に寄り添い、その価値を未来へとつないでいくため、環境に配慮した取り組みを推進しています。敷地内に湧き出る温泉の熱エネルギーを活用した熱交換システムを導入し、館内のエネルギーとして有効利用しているほか、高低差のある地形に沿った配棟計画とすることで、土地の改変を最小限に抑えています。また、既存の樹木を可能な限り活用・移植するなど、自然環境との調和を図った計画としています。

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

また、2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」「2. 環境との共生」「3. 健やか・活力」「4. 安全・安心」「5. ダイバーシティ&インクルージョン」「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025 年 4 月に、街づくりにおける環境との共生宣言「& EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の5つを定めています。本リリースの取り組みは、「& EARTH for Nature」における重点課題の2つに貢献しています。



緑を守り育む



自然資源を循環させる